

公益社団法人
伊勢志摩観光コンベンション機構

令和7年度 第2回臨時総会

日 時：令和8年3月30日（月）午後3時30分～

場 所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 大会議室

令和7年度第2回臨時總會次第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 出席者の報告

4. 議長の選出について

5. 議事録署名人について

6. 議 事

第1号議案

令和8年度の事業計画(案)及び予算(案)について (P. 1～P.22)

7. 報告事項 (P.23～P.24)

・正会員の入会の報告

8. その他

9. 閉 会

第 1 号議案

令和 8 年度の事業計画(案)及び予算(案)について

令和 8 年度 伊勢志摩観光コンベンション機構 事業計画（案）

当機構では、令和 6 年 6 月に策定した、令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 か年間の伊勢志摩の観光振興に関する方向性を示した「伊勢志摩観光振興プラン」に基づき、観光客の増加、周遊促進、消費拡大等による「“観光立圏”伊勢志摩経済圏の活性化」を目指し、様々な事業を展開しています。令和 8 年度は、本プランの 3 年目（中盤戦）にあたり、設定した KGI（観光消費額）の達成を確実なものとするため、以下の 2 つの柱を軸に施策を推進します。

1. いせしませんぐう旅事業（遷宮に向けた機運醸成と周遊促進）

令和 15 年に執り行われる「第 63 回神宮式年遷宮」に向けて、伊勢志摩及び周辺地域の機運を醸成し、受入環境整備や周遊促進施策を実施します。令和 8 年度には遷宮に向けて旧神領民による伝統文化行事であるお木曳行事が行われることから、本行事を幅広く全国に発信するとともに、伊勢志摩及びその他周辺地域の魅力も併せて発信することで周遊促進及び滞在時間延長、地域内の消費拡大を図ります。

また、若年層を中心とした旅行形態の変化に対応し、AI 技術を活用した情報発信の最適化や、既存のデジタルマップ・デジタルクーポン機能等（伊勢志摩 MaaS）とのシームレスな連携を推進し、データに基づいた戦略的な「面的 DX」を実現します。

2. インバウンド向け施策

国内人口減少による将来的な市場縮小を見据え、持続可能な観光地経営の観点からインバウンド対策を強化します。ただし、急激なオーバーツーリズムによる地域住民・国内観光客への影響を考慮し、当エリアの伝統文化や伊勢志摩国立公園の自然景観等への関心が高い層をターゲットに、外国人宿泊者比率「1 割」の獲得を目指します。

具体的には、4 年目を迎える観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」補助金や三重県の補助金等を有効活用し、これまでに明確化した課題の解決、受入環境整備、ターゲット国における伊勢志摩の認知拡大を図ります。あわせて、観光事業者以外との連携も深め、「伊勢志摩ならではの」高付加価値な体験価値を創造することで、地域経済への直接的な貢献を目指します。

令和8年度 事業計画案

I 課題解決に向けた重点項目

(1)国内誘客プロモーション事業(基本戦略1:効果的な伊勢志摩の発信の一部)

事業名・項目		事業計画概要	事業実施のポイント
① いせしませんぐう旅事業			
ア	継続的な観光誘客を目指すプロモーション	インフルエンサー、動画などを活用したプロモーションについては、プロポーザルを実施し、広く企画提案を受ける。 また、いせしませんぐう旅札を利用した伊勢志摩地域を周遊する事業を、地域内事業者等と連携して事業展開を図る。	中長期企画の取組であるため、7年後の遷宮に向けて、継続した連動性のあるプロモーションを毎年度実施していく必要がある。
イ	観光客の満足度を高める受入環境整備	「いせしませんぐう旅」結び手制度を新たに設けて、お土産・飲食店、宿泊施設などをとりまとめて特設サイトに掲載する。 また、伊勢志摩アンバサダーを活用したいせしませんぐう旅の周知ルートなどを発信し観光客の再来訪意欲を高める。	プロモーションや機運醸成などと連動し、一連のつながりのある事業を実施していく必要がある。
ウ	式年遷宮に向けた地域の機運醸成	伊勢志摩地域の事業所等へ昨年度より引き続き、「参宮之証」紙札を配布し、来訪者とのコミュニケーションツールとして使用していただくと共に、伊勢志摩エリアの地域住民に向け、講演会などの啓蒙活動を行い、伊勢志摩への誇りや愛着、おもてなしの心を醸成し、ホスピタリティを高める。 また、首都圏プロモーション事業において、伊勢志摩地域の魅力発信及び物産展等を行い、伊勢志摩地域の機運醸成を図る。	ご遷宮や観光客に対し、地域によって捉え方にバラツキがあるため、時間をかけて事業を継続していく必要がある。
エ	デジタルマップを活用した観光周遊促進	伊勢志摩デジタルマップを活用しスタンプラリーイベントやクーポンの発行など、伊勢志摩Maasを活用した事業を展開する。 デジタルマップ上で展開するスタンプラリーイベントやクーポンを通じて、観光周遊の促進及び消費額向上を図る。 また、イベント参加やクーポン利用により取得した利用者データを分析し、今後の観光プロモーションや効果的な情報発信に活用する。 あわせて、デジタルマップ登録事業者に対し、クーポン発券への協力を依頼し、地域一体となった観光施策の推進を図る。	各自治体の公共交通や地域の事業者などとの連携を進め、「伊勢志摩デジタルマップ」が伊勢志摩地域を訪れる旅行者のプラットフォームとして発展させ、遷宮に向けた基盤づくりへとつなげる。
② 誘客プロモーション事業			
ア	展示会への出展	ツーリズムEXPOや、三重県観光連盟主催の共同プロモーション事業等の出展会へ出展し、スケールメリットを活かしたプロモーションを地域一体となって実施する。	いせしませんぐう旅事業や三重県と連携しながら、開催地やターゲットを踏まえ、プロモーション効果が高い情報を来場者に届けるようにする。
イ	メディアを活用した誘客プロモーション	三重テレビ放送「新・ええじゃないか」を活用し、伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町の旬の話題やお得な情報などを発信し、関西・中部地域だけでなく、全国から伊勢志摩へ観光客の流入を図る。	番組のロケ日や放送日など考慮し、プロモーション効果が高い情報を視聴者に届け、実際に誘客に繋がるような番組を作成する必要がある。

(2)高付加価値なインバウンド観光地づくり【基本戦略2:インバウンドの取組強化の一部】

事業名・項目		事業計画概要	事業実施のポイント
① 高付加価値なインバウンド観光地づくりの基盤整備(DMCと連携強化)			
ア	マスタープランに基づく取組	高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル地域として、マスタープランに掲げた目標の実現を見据え、以下の事業を実施する。 事業の詳細内容は、観光庁事業費、三重県負担金といった活用する財源の方向性・要項等を踏まえ、調整する。 ○地域資源(ウリ・ヤド等)の実態調査・発掘、受入基盤整備、事業者育成・伴走支援等による受入基盤整備 ○エキスパートガイド・パトラ等プレイヤー発掘、レベルアップ、手配体制拡充 ○ヘリ・レンタカー・タクシー等の実態調査、事業者育成・伴走支援、周遊プラン ○コネクション形成(「ILTM Asia Pacific」・「ILTM Cannes」等の商談会出展・ファムトリップ受入・独自ネットワーキングイベント開催) ○観光を通じた域内経済活性化のための施策 ○情報発信強化(ウェブサイト構築・ストーリー・コンセプト等表現の構築・AI等対策) ○施策の域内外への広報・セミナー等開催による事業者との関係構築・機運醸成 ○専門人材招聘 ○必要な地域経営主体の構造や規模の具体化、関係者説明等	域内実態を踏まえた地域内事業者の理解促進、地域内外からの参画者拡大、地域経営主体の設立に向けた具体的施策の加速化

Ⅱ 伊勢志摩観光振興プランに基づく事業

【基本戦略1】効果的な伊勢志摩の発信

事業名・項目		事業計画概要	事業実施のポイント
① いせしませんぐ旅 【I-課題解決に向けた重点項目-(1)に掲載】			
② 誘客プロモーション 【I-課題解決に向けた重点項目-(1)に掲載】			
③ インターネットによる情報発信			
ア	ホームページ・SNSでの情報発信	公式SNS(Instagram, X(旧Twitter), Facebook, LINE)を活用して、各SNSの特色に合わせた形式で、年間を通じて観光情報等を継続的に発信する。また、AI検索を意識したホームページ作り、SNSによる情報発信のあり方に関する研修を実施し、情報発信環境の改善を図る。 ・時期に応じた記事の作成・提供 ・動画や写真 等を活用した投稿 フォロワー数・いいね数10%up	・各SNSの特色に合わせた情報発信を行う。 ・各SNSでは、見た人にとって、より親しみやすい雰囲気となるよう発信する。 ・植物や花々、絶景など自然を楽しめる特集を作成し、季節ごとに更新。各自治体並びに観光協会等のSNSと連携しスポットなどを紹介する。 ・既に登録があるスポットでは、写真や情報を更新し、最新情報の提供をする。
イ	運用の強化	観光スポット情報や特集記事を充実させ、幅広く情報提供を図る。特集記事は従来の記事掲載に加え、閲覧者が体験しやすく理解しやすい記事を作成する。 公式サイト掲載用の写真を厳選し、サイトのビジュアル面の強化を図る。	・旬の情報や新店舗の出店、イベント情報などの、新鮮な情報を入力し掲載する。 ・ニーズの高い体験をレポート形式の特集記事を作成して内容を掘り下げ。 ・伊勢志摩レポーターが執筆した記事を活用し、スポット等とリンクさせることでサイト内周遊を図る。 ・伊勢志摩レポーターの増員を検討する。
ウ	LINE公式アカウント	LINE公式アカウントを活用し、月1回程度(年12回)、観光情報等の情報を発信する。	・ターゲットニーズにあった情報と機能を活用し配信を行う。 ・適宜、取材などで情報を集める。 ・季節に適した特集記事を作成し、提供する。 ・友だち数増加による広告費用の見直しを検討する。
④ パンフレットによる情報発信			
ア	伊勢志摩観光ガイドブック「美し国伊勢志摩」	「美し国伊勢志摩」60,000部増刷予定	・在庫状況を確認しながら増刷をおこなう。情報が変わっている部分は要確認 メインパンフレットのため、毎年度更新(増刷)を実施する。また、単年度で増刷し過ぎないよう発行部数を調整する。

【第1号議案】

【基本戦略2】インバウンドの取組強化

事業名・項目		事業計画概要	事業実施のポイント
① 受入環境の整備			
ア	訪日外国人受入環境整備支援事業 ※令和5年度をもち、当該事業の三重県からの業務委託は終了。	伊勢志摩地域の事業者の共通課題解決に向けたセミナーや合同セールスの実施を予定。 ＜セミナー(案)＞ OTAの活用、googleビジネスプロフィール、等々 ＜合同セールス＞ ・国内ランドオペレーターセールス(東京、大阪、京都、その他地域) ・海外合同セールス(東アジア、東南アジア) 【令和7年度実績】(令和6年11月時点) 1. セミナー開催回数:OTAセミナー1回 2. 国内旅行会社合同セールス(京都・大阪・東京) 参加事業者数:13社 / 訪問会社数:11社 3. 海外旅行会社合同セールス 参加事業者数:13社 / 訪問会社数:35社 (台湾、タイ、豪州、NZ、フランス)	令和8年度のインバウンド市場に則したセミナーを実施する。 セールス先についても直近の誘客が見込める地域を合同セールス候補地とする。(国内・海外) ※セミナー内容、セールス候補地は、インバウンド担当者会議などの場で調整予定。
イ	ホームページ改修	Visit Iseshimaの情報更新や掲載施設からの修正依頼対応のみ実施。 ※高付加価値ページについては、高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」にて、改修は実施予定。詳細は、予算確定後に調整。	
ウ	パンフレット作製	英語、仏語パンフレットの改修と地図ページの改修。シンプルかつ分かりやすい地図に変更。デジタルマップと併用した活用を想定(デジタルマップ二次元コードをパンフレットへ掲載等)。 ・英語パンフレット増刷(マップは改修予定):5,000部 ・仏語パンフレット増刷(マップは改修予定):5,000部	改修に伴い、ページ余白の活用方法を検討。 ・デイトリップを提供している施設情報などの掲載を中心に招請予定
② プロモーション			
ア	4市町トップセールス(アジア)	台湾、香港、シンガポール、タイなどアジア圏を対象としたトップセールスを実施。 現地旅行博を視察し、伊勢志摩地域への商品造成状況の確認と合わせ、現地旅行会社、関係団体を訪問し、伊勢志摩地域を含む商品の造成・誘客促進を図る。	R08年度はシンガポール市場に向けたトップセールスを実施。 現地大使館、JNTO、クレア、JETROなどを候補に日本関係機関へ表敬訪問し、連携強化を打診。また、過去商談歴のあるAGT(一般・高付加)を訪問し、更なる誘客促進をはかる。
イ	大都市圏PR事業 (大阪 or 東京)	【東京または、大阪】 令和4年、6年度に開催した東京ランドオペレーターと伊勢志摩地域の商談会と同様、インバウンドツアーの取扱いのある国内旅行会社を招請する。大阪または、東京で商談会を開催し、地域事業者と国内旅行会社との関係構築、ツアー受注の場を提供する。 【令和7年度実績】※三重県観光連盟共催/12月に実施 1. 招請旅行会社数:19社 2. 地域事業者参加者数:45社 3. 1社あたりの商談数:15セッション前後を想定 4. 1セッション商談時間:15分	伊勢志摩地域と国内又は海外の旅行会社との関係構築を促進する。 ※担当者会議の場と予算を鑑みて開催場所を調整。

【第1号議案】

ウ	商談会出展、 海外・国内セールス	【出展商談会候補】 a. Visit Japan Travel Mart(VJTM) ※出展確定の場合は、インバウンドネットワーク会員事業者から参加者を集う。(案:出展料は伊勢志摩観光コンベンション機構が負担、IDは各事業者で負担) b. VJTM-ASEAN・INDIA-(開催される場合) c. ILTM Cannes ※高付加価値化モデル地域事業国費または、県費利用(会議費、旅費) d. ILTM Asia Pacific ※高付加価値化モデル地域事業国費または、県費利用(会議費、旅費) e. Japan Road Show(オーストラリア・ニュージーランド) f. その他各市町、地域事業者が実施するインバウンド誘客に係るイベントの協力、出展 例)JNTO、三重県 or 観光連盟主催商談会、セントレア主催商談会、各市町主催商談会 g. 三遠南信・伊勢志摩広域連携協議会「商談会」(事務局) 募集対象:伊勢志摩インバウンドネットワーク正会員事業者	※物価高の影響により、出展料、航空券、現地滞在費も高騰しているため、主要商談会に絞って出展予定
	エ	【セールス】 上記、商談会等に合わせ、海外旅行会社、国内ランドオペレーターセールスを実施。 <渡航国候補> シンガポール、タイ、オーストラリア、ニュージーランド、フランス	
オ	ファムトリップ	・当機構単独で実施するファムトリップは例年通り受入れを行う。(国内ランドオペレーター、海外旅行会社、メディア等々) ・各市町観光協会、三重県と連携したファムトリップの受入、アテンド支援。	基本的に商品造成に向けたファムトリップの実施を前提とする。各旅行会社の客層にマッチする旅程を提案とし、1社ごとに対応。
カ	近畿東中央部FIT促進事業 (旧VJ事業)	・三重県、近畿日本鉄道と連携し、東南アジア、欧州からの誘客を強化する。 【令和7年度実績】 ターゲット国:タイ、フランス 1. タイ市場 ・FITフェア(現地旅行博)出展 ・現地セールス4社 2. フランス ・Voyage & Saveurs du Japon 2026(現地旅行博)出展 ・現地セールス5社	詳しい事業内容については三重県、近畿日本鉄道と協議。
キ	EXCITING KANSAI (旧称:プラスワントリップキャンペーン)	・関西観光本部と連携し、広域周遊に向けた滞在圏形成のための取組を実施する。	事業内容は、関西観光本部と協議。
ク	SDGsに係る情報発信	上記各プロモーション事業において、伊勢志摩地域内の伝統的なSDGsの取組みや新しい取組みを発信していく。	式年遷宮や海女文化など地域に根付く、歴史ある持続可能な取り組みや地域のコンテンツをPR。
	環境省国立公園オフィシャル パートナーシップ	・環境省と連携した取組(VJTM出展など) ・伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会と連携した取組	令和8年度に国立公園指定80周年への取組が予定されているので、必要に応じて協議会と連携をとり、各取組を推進していく。

④ 高付加価値なインバウンド観光地づくり 【I -課題解決に向けた重点項目-(2)に掲載】

⑤ 高付加価値なインバウンドへのプロモーション 【I -課題解決に向けた重点項目-(2)に掲載】

⑥ マーケティング

コ	外国人観光客に係るデータの把握	令和元年度から継続している当機構会員宿泊施設から提供される「外国人宿泊施設データ」、「JNTO訪日外客数推計値」をもとに地域内、国内の傾向を把握する。そして、渡航規制の緩和後にどの市場からの回復が早いかなど、インバウンド事業の効果的かつ効率的な実施に努める。 ・伊勢志摩地域外国人宿泊者データ集計(月1回) ・JNTO訪日外客数推計値集計(年2回) ・外国語版伊勢志摩観光ナビのアクセスデータ集計(月1回)	より精度の高いマーケティングを実施するため、外国人宿泊者データ提供依頼先施設の拡充。
---	-----------------	---	--

【第1号議案】

【基本戦略3】来訪機会の創出

事業名・項目		事業計画概要	事業実施のポイント
① MICEの誘致			
	助成制度の継続、県内・隣県・関西・首都圏方面への営業活動	・学会事務局や大都市圏のMICE誘致会社及び三重大学、開催見込団体へのセールス ・三重県観光部と連携し伊勢志摩地域へのMICE開催に繋げる。 ・伊勢志摩地域におけるMICE開催状況の把握や推進協議会々員との情報共有、近隣のMICE誘致団体との情報交換を行う。	・学会事務局やMICE誘致会社及び三重大学、見込団体への積極的なセールス活動、近隣の誘致団体や会員との密な情報交換を行い早期にMICE開催予定団体情報を入手し、伊勢志摩地域が一体となるような受け入れ態勢の強化を図る。 ・三重県観光部と情報共有し連携を図る。
② フィルムコミッションの推進			
ア	ロケ地の問い合わせ対応など支援体制の充実	映画、TV、CM等の撮影に係る支援活動を積極的に行う。伊勢志摩地域の魅力を映像作品を通じて発信することにより、魅力の再発見や知名度の向上、イメージアップを図る。	作品の内容を問わず支援活動を積極的に行い、制作者との繋がりを大事にする。
イ	営業活動等による映像作品の誘致	・映画、TV、CM等の映像作品を積極的に誘致するために、影響力のある映像制作会社等へ営業活動を行う。 ・営業ツールとしてノベルティを作成 ・地域と制作者がマッチングする商談会へ出展	営業活動にあたっては、制作者が求めている情報を引き出したうえ、的確な情報提供を行い、映像作品の誘致を図る。
③ クルーズ船の誘致			
ア	鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会との連携	鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会と協力し、クルーズ客の地域内周遊につなげ、消費拡大やリピーター獲得を図る。また、鳥羽港が寄港地として選ばれるよう魅力と認知度の向上を図り、VJTMなどの商談会やクルーズ船社へのセールス活動に取り組む。	インバウンド誘客のためのきっかけにもなる事業である。当機構としては、受入環境向上強化の一助となるよう、外国船寄港時の受入対応の連携を図る。
④ 学生団体の誘致			
誘致活動			
ア	セールス活動	国内で来訪実績のある地域や新規に誘致できる見込みのある地域の旅行会社へ訪問し、情報収集を兼ねた誘致活動を行う。また、昨年度に引き続き本年度も台湾からの学生誘致を図る。 国内：北関東・関西・関東・中部 海外：台湾	訪問セールスによってできた繋がりを絶たないため、継続的にメール等で情報収集を行うなどの、「事後」にも注力する。
イ	現地招聘事業	伊勢志摩地域の魅力を効果的に伝えるため、旅行会社営業担当者や教育関係者を招聘し、現地視察を実施する。 ・国内大手旅行会社 ・台湾教育旅行関係者	商談会を設け、やむを得ず行程に入れることができなかった施設にも直接PRできる機会を創出する。
情報発信			
ア	ホームページの利用	学誘委の施設の新しい情報や最新の体験情報を掲載し、新鮮な伊勢志摩地域の魅力を発信する。	教育旅行関係者が必要とする情報を掲載。
イ	ガイドブック・パンフレット等の改訂・増刷	在庫があることから令和8年度は増刷予定なし。	—
受入環境の整備			
ア	受入実態調査	以下の調査を実施する。 ・宿泊施設を対象に県内・県外別来訪者数の調査 ・宿泊施設を対象に県別来訪者数の調査 ・学誘委委員を対象に受入実態及び学誘委事業への意見等についての調査	調査結果を今後の事業に活かしていく必要がある。

【第1号議案】

【基本戦略4】受入環境の整備

事業名・項目		事業計画概要	事業実施のポイント
① 観光客の実態の把握及び満足度の向上			
	旅行者アンケートの実施	伊勢志摩地域への来訪者に係るデータを収集し、来訪者の傾向を把握・分析した上で、伊勢志摩地域に訪れる観光客に対して、効果的な取組の検証や来年度以降の施策立案に活用する。	令和7年度より、アンケート事業の運営主体を三重県観光連盟へ移行し、集計から抽選、発送までの業務を同連盟へ委託する体制とした。これにより、集計作業の効率化が図られ、業務負担の軽減につながった。 また、今後は三重県観光連盟が中心となることで、他地域のアンケート結果との比較・分析が可能となることが期待される。 さらに、次期式年選宮に向けた取組として、令和7年度より選宮に関する認知度項目を新たにアンケートへ追加した。
② 観光産業と観光文化の振興及び人材の育成			
	人材育成及び地域住民の意識啓発	インバウンドの受入環境整備や、選宮を契機とした地域住民の伊勢志摩への誇りや愛着、おもてなしの心を醸成する。	各市町の事業者や地域住民まで巻き込み、それぞれが主体的に事業に関わっていくことを目標に時間をかけて事業を継続していく必要がある。
③ デジタル化の推進 【I-課題解決に向けた重点項目-(1)に掲載】			
④ 安全・安心な観光地づくり			
	災害対応等	避難場所への経路検索など観光客の利便性を確保するため、デジタルマップを活用して避難情報等を案内する。	令和7年度時点で、3市2町(伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町・明和町)の避難情報の登録が完了している。令和8年度には新たに玉城町および度会町を追加する予定であり、今後も対象地域の拡大について継続して検討していく必要がある。

【基本戦略5】推進体制の強化

事業名・項目		事業計画概要	事業実施のポイント
① 起業・団体・個人とのマッチング機会の創出等			
	収入確保の取組 (ホームページへの有料記事掲載) (マーケティングデータの活用)	公式HPの観光施設等の特集記事を増加し、観光客のアクセス数の増加を図り、その傾向を分析し、新たな特集記事の発信を継続的に実施していく。 ○有料の特集記事の作成 ○体験施設の体験レポートの作成 ○いせしませんぐう旅ログを活用した協賛企業の獲得	・公式HPの積極的な活用。 ・キャンペーンや旅行者アンケート等のデータを分析し提供出来る体制の構築。 ・令和15年度第63回神宮式年選宮に向けた機運醸成と自主財源の確保(事業持続性の確保)
② 事務局体制の強化等			
ア	事務局体制	伊勢志摩地域の広域観光を十分に担うため、行政、関係団体、事業者等と連携し、伊勢志摩地域の観光振興を推進する事務局体制を構築する。また、地域連携DMOとして地域経済の活性化に向け重要な役割を担うために、プロパー職員の採用について検討を行う。 ○事務局職員(専務理事を含む) 15名体制	機構のあり方検討会での最終方針を踏まえ段階的に職員を増やし事務局体制の強化を図る インバウンド・IT人材の強化 令和7年度 16名体制 令和9年度 17名体制
イ	会員の拡大	会員になることのインセンティブの充実を図り、情報を発信する。伊勢志摩地域のスケールメリットを活かし、官民が一体となって観光振興事業の展開及び推進を図り、新規会員の確保に積極的に取り組む。	伊勢志摩地域のスケールメリットを活かした会員相互の連携・交流の促進を図り、会員のメリットにつながる事業活動を行う。
ウ	会員への情報提供	様々な関係者と連携した取組を進めるため、地域とのつながりの強化やコミュニケーションを図る。また、会員向けの情報を提供する機会や情報交換の機会を作る。 ○会員の新たな事業・取組などの情報発信(観光客や事業者向け)	会員情報の収集 関係機関等の情報の収集

令和 8年度 収支予算書(案)
令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計 (B)	内部取引 消去	今年度予算 (A) + (B)	前年度予算	増減
	一般会計	学生団体誘致 委員会事業 特別会計	伊勢志摩せんぐう旅 博金商準備事業 特別会計	高付加価値化インバ ウンド協議会事業 特別会計	地域観光圏整備 事業特別会計	小計 (A)					
I 一般正味財産増減の部											
1.経常増減の分											
(1)経常収益											
受取会費											
正会員受取会費	3,500,000	0	0	10,000,000	0	13,500,000	3,500,000	0	17,000,000	7,000,000	10,000,000
事業収益											
事業収益	200,000	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000	200,000	0
受取補助金等											
受取国庫補助金	0	0	0	29,800,000	0	29,800,000	0	0	29,800,000	14,500,000	15,300,000
受取負担金											
受取負担金	37,275,000	3,420,000	93,440,000	10,000,000	0	144,135,000	16,875,000	0	161,010,000	105,245,000	55,765,000
受取寄附金											
受取寄付金	4,500,000	0	0	0	0	4,500,000	0	0	4,500,000	4,500,000	0
雑収益											
協賛金			500,000								
受取利息	0	1,000	1,000	1,000	0	3,000	1,000	0	4,000	5,000	△ 1,000
経常収益計	45,475,000	3,421,000	93,941,000	49,801,000	0	192,638,000	20,376,000	0	212,514,000	131,450,000	81,064,000
(2)経常費用											
事業費											
役員報酬	2,800,000	0	0	0	0	2,800,000	0	0	2,800,000	2,800,000	0
給料手当	14,016,800	0	2,000,000	13,992,000	0	30,008,800	0	0	30,008,800	24,302,600	5,706,200
福利厚生費	2,267,000	0	0	700,000	0	2,967,000	0	0	2,967,000	2,183,000	784,000
会議費	1,845,000	50,000	100,000	4,079,000	0	6,074,000	0	0	6,074,000	6,940,000	△ 866,000
旅費交通費	4,277,000	1,626,000	630,000	8,415,000	0	14,948,000	0	0	14,948,000	11,673,000	3,275,000
通信運搬費	846,000	150,000	197,000	69,000	0	1,262,000	0	0	1,262,000	2,016,956	△ 754,956
広告宣伝費	821,000	0	1,000	0	0	822,000	0	0	822,000	1,154,000	△ 332,000
渉外費	2,370,000	3,270,000	765,000	80,000	0	6,485,000	0	0	6,485,000	9,304,000	△ 2,819,000
減価償却費	0	0	0	0	101,421	101,421	0	0	101,421	101,421	0
消耗品費	2,163,000	70,000	251,000	117,000	0	2,601,000	0	0	2,601,000	5,756,590	△ 3,155,590
修繕費	35,000	0	0	0	0	35,000	0	0	35,000	27,517	7,483
印刷製本費	1,400,000	0	150,000	0	0	1,550,000	0	0	1,550,000	2,187,000	△ 637,000
燃料費	277,200	20,000	0	0	0	297,200	0	0	297,200	297,608	△ 408
賃借料	1,841,400	34,000	20,000	64,000	0	1,959,400	0	0	1,959,400	2,399,736	△ 440,336
保険料	205,100	0	0	0	0	205,100	0	0	205,100	201,383	3,717
諸謝金	1,140,000	0	300,000	205,000	0	1,645,000	0	0	1,645,000	1,710,000	△ 65,000
租税公課	1,000	1,000	100,000	68,000	0	170,000	0	0	170,000	246,200	△ 76,200
支払負担金	2,890,000	80,000	0	0	0	2,970,000	0	0	2,970,000	1,920,000	1,050,000
支払助成金	1,250,000	0	0	0	0	1,250,000	0	0	1,250,000	3,150,000	△ 1,900,000
支払寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	11,756,400	0	89,377,000	22,000,000	0	123,133,400	0	0	123,133,400	73,294,055	49,839,345
雑費	50,000	20,000	50,000	12,000	0	132,000	0	0	132,000	58,000	74,000
事業費計(a)	52,251,900	5,321,000	93,941,000	49,801,000	101,421	201,416,321	0	0	201,416,321	151,723,066	49,693,255
管理費											
役員報酬	0	0	0	0	0	0	2,800,000	0	2,800,000	2,800,000	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	5,983,200	0	5,983,200	6,027,400	△ 44,200
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	1,147,000	0	1,147,000	1,111,000	36,000
会議費	0	0	0	0	0	0	680,000	0	680,000	75,933	604,067
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	79,000	0	79,000	72,320	6,680
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	258,000	0	258,000	299,700	△ 41,700
消耗品費	0	0	0	0	0	0	427,000	0	427,000	350,847	76,153
修繕費	0	0	0	0	0	0	65,000	0	65,000	61,793	3,207
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	118,800	0	118,800	118,800	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	1,417,600	0	1,417,600	1,244,000	173,600
保険料	0	0	0	0	0	0	87,900	0	87,900	86,307	1,593
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,012,000	0	1,012,000	1,012,000	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	10,000	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	480,000	0	480,000	480,000	0
委託費	0	0	0	0	0	0	237,600	0	237,600	1,530,400	
雑費	0	0	0	0	0	0	155,000	0	155,000	221,000	△ 66,000
管理費計(b)	0	0	0	0	0	0	14,958,100	0	14,958,100	15,501,500	749,400
経常費用計(a+b)	52,251,900	5,321,000	93,941,000	49,801,000	101,421	201,416,321	14,958,100	0	216,374,421	167,224,566	50,442,655
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,776,900	△ 1,900,000	0	0	△ 101,421	△ 8,778,321	5,417,900	0	△ 3,860,421	△ 35,774,566	31,914,145
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,776,900	△ 1,900,000	0	0	△ 101,421	△ 8,778,321	5,417,900	0	△ 3,860,421	△ 35,774,566	31,914,145
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	119,000	0	119,000	0	0	238,000	0	238,000
当期一般正味財産増減額	△ 6,776,900	△ 1,900,000	0	119,000	△ 101,421	△ 8,659,321	0	0	△ 3,622,421	△ 35,774,566	32,152,145
一般正味財産期首残高	17,775,533	0	4,849,005	0	594,166	23,218,704	0	0	23,218,704	18,369,699	4,849,005
一般正味財産期末残高	10,998,633	△ 1,900,000	4,849,005	119,000	492,745	14,559,383	0	0	14,559,383	9,591,378	37,001,150
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高											
正味財産期末残高	10,998,633	△ 1,900,000	4,849,005	119,000	492,745	14,559,383	0	0	14,559,383	9,591,378	37,001,150

令和 8年度 収支予算書 (案)

【第1号議案】

令和 8年4月1日から令和 9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計		内部取引 消去	令和8年度 予算(A)	令和7年度 予算(B)※補正後	増減 (A)－(B)
	公益目的事業会計	法人会計				
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の分						
(1)経常収益						
受取会費						
正会員受取会費	3,500,000	3,500,000	0	7,000,000	7,000,000	0
事業収益						
事業収益	200,000	0	0	200,000	200,000	0
受取補助金等						
受取国庫補助金	0	0	0		0	0
受取負担金						
受取負担金	37,275,000	16,875,000	0	54,150,000	34,775,000	19,375,000
受取寄附金						
受取寄付金	4,500,000	0	0	4,500,000	4,500,000	0
雑収益						
受取利息	0	1,000	0	1,000	1,000	0
経常収益計	45,475,000	20,376,000	0	65,851,000	46,476,000	19,375,000
(2)経常費用						
事業費						
役員報酬	2,800,000	0	0	2,800,000	2,800,000	0
給料手当	14,016,800	0	0	14,016,800	14,706,600	△ 689,800
福利厚生費	2,267,000	0	0	2,267,000	2,183,000	84,000
会議費	1,845,000	0	0	1,845,000	2,690,000	△ 845,000
旅費交通費	4,277,000	0	0	4,277,000	4,516,000	△ 239,000
通信運搬費	846,000	0	0	846,000	1,135,351	△ 289,351
広告宣伝費	821,000	0	0	821,000	1,099,000	△ 278,000
渉外費	2,370,000	0	0	2,370,000	2,290,000	80,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	2,163,000	0	0	2,163,000	4,808,900	△ 2,645,900
修繕費	35,000	0	0	35,000	27,517	7,483
印刷製本費	1,400,000	0	0	1,400,000	1,386,000	14,000
燃料費	277,200	0	0	277,200	277,200	0
賃借料	1,841,400	0	0	1,841,400	2,064,949	△ 223,549
保険料	205,100	0	0	205,100	201,383	3,717
諸謝金	1,140,000	0	0	1,140,000	970,000	170,000
租税公課	1,000	0	0	1,000	0	1,000
支払負担金	2,890,000	0	0	2,890,000	1,840,000	1,050,000
支払助成金	1,250,000	0	0	1,250,000	2,150,000	△ 900,000
委託費	11,756,400	0	0	11,756,400	9,013,600	2,742,800
雑費	50,000	0	0	50,000	0	50,000
事業費計(a)	52,251,900	0	0	52,251,900	54,159,500	△ 1,907,600
管理費						
役員報酬	0	2,800,000	0	2,800,000	2,800,000	0
給料手当	0	5,983,200	0	5,983,200	6,027,400	△ 44,200
福利厚生費	0	1,147,000	0	1,147,000	1,111,000	36,000
会議費	0	680,000	0	680,000	75,933	604,067
旅費交通費	0	79,000	0	79,000	72,320	6,680
通信運搬費	0	258,000	0	258,000	299,700	△ 41,700
消耗品費	0	427,000	0	427,000	350,847	76,153
修繕費	0	65,000	0	65,000	61,793	3,207
印刷製本費	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	118,800	0	118,800	118,800	0
賃借料	0	1,417,600	0	1,417,600	1,244,000	173,600
保険料	0	87,900	0	87,900	86,307	1,593
諸謝金	0	1,012,000	0	1,012,000	1,012,000	0
租税公課	0	10,000	0	10,000	10,000	0
支払負担金	0	480,000	0	480,000	480,000	0
委託費	0	237,600	0	237,600	1,530,400	△ 1,292,800
雑費	0	155,000	0	155,000	221,000	△ 66,000
管理費計(b)	0	14,958,100	0	14,958,100	15,501,500	△ 543,400
経常費用計(a+b)	52,251,900	14,958,100	0	67,210,000	69,661,000	△ 2,451,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,776,900	5,417,900	0	△ 1,359,000	△ 1,359,000	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,776,900	5,417,900	0	△ 1,359,000	△ 1,359,000	0
2. 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	△ 219,000	219,000
当期一般正味財産増減額	△ 6,776,900	5,417,900	0	△ 1,359,000	△ 5,149,000	3,790,000
一般正味財産期首残高	17,775,533	0	0	17,775,533	13,841,005	3,934,528
一般正味財産期末残高	10,998,633	5,417,900	0	16,416,533	8,692,005	7,724,528
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	10,998,633	5,417,900	0	16,416,533	8,692,005	7,724,528

令和 8年度 学生団体誘致委員会事業 特別会計 収支予算書 (案)

【第1号議案】

令和 8年4月1日から令和 9年3月31日まで

(単位:

科 目	公益目的事業会計	内部取引 消去	令和8年度 予算(A)	令和7年度 予算(B)※補正後	増減 (A)－(B)
	学生団体誘致委員会				
I 一般正味財産増減の部					
1.経常増減の分					
(1)経常収益					
受取会費					
正会員受取会費	0	0	0	0	0
事業収益					
事業収益	0	0	0	0	0
受取補助金等					
受取国庫補助金	0	0	0	0	0
受取負担金					
受取負担金	3,420,000	0	3,420,000	3,480,000	△ 60,000
受取寄附金					
受取寄付金	0	0			0
雑収益					
受取利息	1,000	0	1,000	1,000	0
経常収益計	3,421,000	0	3,421,000	3,481,000	△ 60,000
(2)経常費用					
事業費					
役員報酬	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	50,000	0	50,000	70,000	△ 20,000
旅費交通費	1,626,000	0	1,626,000	1,777,000	△ 151,000
通信運搬費	150,000	0	150,000	200,000	△ 50,000
広告宣伝費	0	0	0	0	0
渉外費	3,270,000	0	3,270,000	3,864,000	△ 594,000
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗品費	70,000	0	70,000	183,690	△ 113,690
修繕費	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	700,000	△ 700,000
燃料費	20,000	0	20,000	20,408	△ 408
賃借料	34,000	0	34,000	14,592	19,408
保険料	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
租税公課	1,000	0	1,000	1,000	0
支払負担金	80,000	0	80,000	80,000	0
支払助成金	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
雑費	20,000	0	20,000	20,000	0
事業費計(a)	5,321,000	0	5,321,000	6,930,690	△ 1,609,690
管理費					
管理費計(b)	0	0	0	0	0
経常費用計(a+b)	5,321,000	0	5,321,000	6,930,690	△ 1,609,690
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,900,000	0	△ 1,900,000	△ 3,449,690	1,549,690
基本財産評価損益等	0	0			0
評価損益等計	0	0			0
当期経常増減額	△ 1,900,000	0	△ 1,900,000	△ 3,449,690	1,549,690
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,900,000	0	△ 2,746,000	△ 3,449,690	703,690
一般正味財産期首残高	0	0	0	3,449,690	△ 3,449,690
一般正味財産期末残高	△ 1,900,000	0	△ 2,746,000	0	△ 2,746,000
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高					
正味財産期末残高	△ 1,900,000	0	△ 2,746,000	0	△ 2,746,000

令和 8年度 いせしませんぐら旅事業 特別会計 収支予算書 (案)

【第1号議案】

令和 8年4月1日から令和 9年3月31日まで

(単位

科 目	公益目的事業会計	内部取引 消去	令和8年度 予算(A)	令和7年度 予算(B)※補正後	増減 (A)－(B)
	いせしませんぐら旅事業				
I 一般正味財産増減の部					
1.経常増減の分					
(1)経常収益					
受取会費					
正会員受取会費	0	0	0	0	0
事業収益					
事業収益	0	0	0	0	0
受取補助金等					
受取国庫補助金	0	0	0	0	0
受取負担金					
受取負担金	93,440,000	0	93,440,000	24,990,000	68,450,000
受取寄附金					
受取寄附金	0	0	0	0	0
雑収益					
協賛金	500,000		500,000		
受取利息	1,000	0	1,000	1,000	0
経常収益計	93,941,000	0	93,941,000	24,991,000	68,450,000
(2)経常費用					
事業費					
役員報酬	0	0	0	0	0
給料手当	2,000,000	0	2,000,000	1,450,000	550,000
福利厚生費	0	0	0	0	0
会議費	100,000	0	100,000	180,000	△ 80,000
旅費交通費	630,000	0	630,000	322,000	308,000
通信運搬費	197,000	0	197,000	516,000	△ 319,000
広告宣伝費	1,000	0	1,000	55,000	△ 54,000
渉外費	765,000	0	765,000	45,000	720,000
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗品費	251,000	0	251,000	337,000	△ 86,000
修繕費	0	0	0	0	0
印刷製本費	150,000	0	150,000	1,000	149,000
燃料費	0	0	0	0	0
賃借料	20,000	0	20,000	20,000	0
保険料	0	0	0	0	0
諸謝金	300,000	0	300,000	240,000	60,000
租税公課	100,000	0	100,000	125,000	△ 25,000
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0
委託費	89,377,000	0	89,377,000	26,539,005	62,837,995
雑費	50,000	0	50,000	10,000	40,000
事業費計(a)	93,941,000	0	93,941,000	29,840,005	64,100,995
管理費					
管理費計(b)	0	0	0	0	0
経常費用計(a+b)	93,941,000	0	93,941,000	29,840,005	64,100,995
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	△ 4,849,005	4,849,005
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	△ 4,849,005	4,849,005
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 4,849,005	4,849,005
一般正味財産期首残高	0	0	0	4,849,005	△ 4,849,005
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高					
正味財産期末残高	0	0	0	0	0

令和 8年度 高付加価値インバウンド協議会事業 特別会計 収支予算書 (案)

【第1号議案】

令和 8年4月1日から令和 9年3月31日まで

(単位:

科 目	公益目的事業会計	内部取引 消去	令和8年度 予算(A)	令和7年度 予算(B)※補正後	増減 (A)－(B)
	高付加価値インバウンド 協議会事業				
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の分					
(1) 経常収益					
受取会費					
正会員受取会費	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000
事業収益					
事業収益	0	0	0	0	0
受取補助金等					
受取国庫補助金	29,800,000	0	29,800,000	14,500,000	15,300,000
受取負担金					
受取負担金	10,000,000	0	10,000,000	20,000,000	△ 10,000,000
受取寄附金					
受取寄附金	0	0	0	0	0
雑収益					
受取利息	1,000	0	1,000	1,000	0
経常収益計	49,801,000	0	49,801,000	34,501,000	15,300,000
(2) 経常費用					
事業費					
役員報酬	0	0	0	0	0
給料手当	13,992,000	0	13,992,000	7,796,000	6,196,000
福利厚生費	700,000	0	700,000	0	700,000
会議費	4,079,000	0	4,079,000	4,000,000	79,000
旅費交通費	8,415,000	0	8,415,000	4,750,000	3,665,000
通信運搬費	69,000	0	69,000	78,605	△ 9,605
広告宣伝費	0	0	0	0	0
渉外費	80,000	0	80,000	3,100,000	△ 3,020,000
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗品費	117,000	0	117,000	185,000	△ 68,000
修繕費	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0
賃借料	64,000	0	64,000	300,195	△ 236,195
保険料	0	0	0	0	0
諸謝金	205,000	0	205,000	500,000	△ 295,000
租税公課	68,000	0	68,000	100,200	△ 32,200
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	1,000,000	△ 1,000,000
委託費	22,000,000	0	22,000,000	12,800,000	9,200,000
雑費	12,000	0	12,000	10,000	2,000
事業費計(a)	49,801,000	0	49,801,000	34,620,000	15,181,000
管理費					
管理費計(b)	0	0	0	0	0
経常費用計(a+b)	49,801,000	0	49,801,000	34,620,000	15,181,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	△ 119,000	119,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	△ 119,000	119,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0			0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0			0
当期経常外増減額	0	0			0
他会計振替額	0	0	0	-10,344,528	10,344,528
当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 10,463,528	10,463,528
一般正味財産期首残高	0	0	0	10,463,528	△ 10,463,528
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高					
正味財産期末残高	0	0	0	0	0

参考資料

令和8年度
資金ベースでの収支予算書(案)

【 参考資料 】

令和 8年度 一般会計収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和8年度)	前年度予算 (令和7年度)	差 異	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①会費収入	正会員会費収入	7,000,000	7,000,000	0	1口20千円×350口
②負担金収入	特別会員負担金	28,500,000	28,500,000	0	伊勢市・鳥羽市・志摩市9,500千円×3市
		1,750,000	1,750,000	0	南伊勢町
		500,000	500,000	0	玉城町・度会町・多気町・明和町・大紀町 100千円×5町
	特別事業負担金	3,000,000	3,000,000	0	伊勢市観光協会・鳥羽市観光協会・志摩市観光協会・ 伊勢商工会議所・鳥羽商工会議所・志摩市商工会 500千円×6団体
		2,250,000	2,250,000	0	フィルムコミッション事業負担金(伊勢市・鳥羽市・ 志摩市500千円×3市、南伊勢町・玉城町・度会町 250千円×3町)
		4,650,000	6,150,000	△ 1,500,000	国内誘客事業負担金(伊勢市・鳥羽市・志摩市 1,500千円×3市) 南伊勢町150千円
		13,500,000	9,500,000	4,000,000	インバウンド事業負担金(伊勢市・鳥羽市・志摩 市 4,000千円×3市、南伊勢町1,500千円)
③委託金収入		0	0	0	
④事業収入	広告収入、販売手数料	200,000	200,000	0	宿泊予約掲載、特集記事、バナー広告、 MICE紙袋
⑤寄付金収入		4,500,000	4,500,000	0	伊勢志摩WAONに係る寄附金
⑥雑収入		1,000	1,000	0	受取利息
事業活動収入計 (a)		65,851,000	63,351,000	2,500,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
観光情報の発信事業	インターネットによる情報発信	2,947,000	3,055,000	△ 108,000	ホームページ保守管理業務、 LINE公式アカウント利用料 伊勢志摩レポーター諸謝金
	メディアによる情報発信	0	0	0	
	パンフレット等による 情報発信	1,400,000	1,386,000	14,000	「美し国伊勢志摩」増刷分
観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入体制の整備に関する事業	安全安心観光地づくり事業	0	0	0	
	インバウンド推進事業	13,500,000	9,500,000	4,000,000	情報発信事業、受入支援事業、プロモーション事業
	クルーズ船誘致及び おもてなし事業	108,000	108,000	0	セールス旅費
	MICE誘致事業	2,928,000	4,440,000	△ 1,512,000	MICEセールス旅費、開催助成金、JCMAサマーセ ミナー等
	国内誘客促進事業	4,982,000	7,551,000	△ 2,569,000	観光関連事業参加費等
伊勢志摩フィルムコミッション事業		2,800,000	3,690,000	△ 890,000	伊勢志摩映像制作撮影支援及び情報発信費等
観光情報の調査研究及び観光客の満足度向上に関する事業	マーケティング推進事業	405,000	455,000	△ 50,000	観光客実態調査ノベルティ購入費等
観光産業及び観光文化の振興と人材の育成に関する事業	受入体制整備事業	0	0	0	
事業費支出計 (b)		29,070,000	30,185,000	△ 1,115,000	

【 参考資料 】

令和 8年度 一般会計収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和8年度)	前年度予算 (令和7年度)	差 異	説 明
②管理費支出					
給料手当支出	派遣職員 時間外勤務手当	1,280,000	2,430,000	△ 1,150,000	派遣職員時間外勤務手当(一般事業分)
	派遣職員勤勉手当	4,800,000	4,674,000	126,000	派遣職員勤勉手当
	派遣職員その他手当	1,684,000	1,696,000	△ 12,000	派遣職員通勤手当1,204千円、 管理職手当480千円
	専務理事・正規職員 雇用分	6,236,000	6,638,000	△ 402,000	専務理事1名通勤手当36千円、 正規職員1名給与6,200千円
	契約職員雇用分	6,000,000	5,296,000	704,000	契約職員2名給与
福利厚生費支出	社会保険料等	2,670,000	2,580,000	90,000	社会保険料事業主負担分等(専務理事、正規職員、契約職員)
	労災保険料・雇用保険料	480,000	450,000	30,000	労災保険料(全職員)、雇用保険料(正規職員、契約職員)
	中小企業退職共済掛金	264,000	264,000	0	中小企業退職共済掛金(正規職員、契約職員)
報酬費支出		6,612,000	6,612,000	0	専務理事報酬5,600千円、税理士顧問報酬880千円、社労士顧問報酬132千円
会議費支出		680,000	60,000	620,000	理事会、総会等開催費用・DMO研修費・商談会費用
旅費交通費支出		79,000	79,000	0	総務関係研修旅費等
消耗品費支出		560,000	477,000	83,000	事務用品、専門誌、関係図書購入等
印刷製本費支出		0	0	0	
通信運搬費支出		860,000	999,000	△ 139,000	電話料、メール便、荷物配送代等
車両整備費支出		50,000	39,990	10,010	車両整備、修理費等
燃料費支出		396,000	396,000	0	公用車ガソリン代
損害保険料支出		293,000	287,010	5,990	公用車自動車保険3台
使用料及び手数料支出		645,000	516,000	129,000	銀行振込手数料、コピー機使用料等
賃借料支出		3,169,000	3,269,000	△ 100,000	コピー機リース料、会計システム料、事務所家賃、公用車リース代、PCリース他
修繕費支出		50,000	50,000	0	備品修繕費等
備品購入費支出			0	0	
備品購入費支出		0	0	0	
負担金支出		480,000	480,000	0	加盟諸団体会費及び負担金等
租税公課支出		10,000	10,000	0	登記等(印紙代)、税等
委託費支出		792,000	2,068,000	△ 1,276,000	GoogleWorkspace維持管理費及びハードウェア保守管理費
雑費支出		50,000	105,000	△ 55,000	クリーニング代等
管理費支出計 (c)		38,140,000	39,476,000	△ 1,336,000	
事業活動支出計 (d) = (b) + (c)		67,210,000	69,661,000	△ 2,451,000	
事業活動収支差額 (e) = (a) - (d)		△ 1,359,000	△ 6,310,000	4,951,000	
II 投資活動収支の部		0	0	0	
1. 投資活動収入		0	0	0	
2. 投資活動支出		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入		0	0	0	
2. 財務活動支出		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
他会計振替額		0	10,244,528	△ 10,244,528	
IV 予備費支出		0	0	0	
当期収支差額 (e)		△ 1,359,000	3,934,528	△ 5,293,528	
前期繰越収支差額		17,775,533	13,841,005	3,934,528	
次期繰越収支差額		16,416,533	17,775,533	△ 1,359,000	

【 参考資料 】

令和 8年度 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業特別会計収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和8年度)	前年度予算 (令和7年度)	差 異	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①会費収入	学誘委員会費収入	750,000	810,000	△ 60,000	1口30千円×25委員
②負担金収入	学誘特別委員負担金	1,800,000	1,800,000	0	伊勢市・鳥羽市・志摩市 600千円×3市
		300,000	300,000	0	南伊勢町 300千円
		240,000	240,000	0	三重県 240千円
		330,000	330,000	0	特別委員 30千円×11委員
③雑収入		1,000	1,000	0	受取利息
事業活動収入計 (a)		3,421,000	3,481,000	△ 60,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		0	0	0	
福利厚生費支出		0	0	0	
会議費支出		50,000	70,000	△ 20,000	
旅費交通費支出		1,626,000	1,777,000	△ 151,000	関東、関西、中部、山陽、四国、台湾
消耗品費支出		70,000	183,690	△ 113,690	コピー使用料、消耗品 等
修繕費支出			0	0	
印刷製本費支出		0	700,000	△ 700,000	ガイドブック新規作成
通信運搬費支出		150,000	200,000	△ 50,000	
広告宣伝費				0	
渉外費		3,270,000	3,864,000	△ 594,000	東武トップツアーズ JNTO台湾教育旅行視察招聘 食事代 等
燃料費支出		20,000	25,000	△ 5,000	
光熱水料費			0	0	
賃借料支出		34,000	10,000	24,000	Wi-Fi レンタル料 等
諸謝金				0	
負担金支出		80,000	80,000	0	全修協・日修協
租税公課支出		1,000	1,000	0	
委託費支出		0	0	0	
雑費支出		20,000	20,000	0	振込手数料 等
事業費支出計		5,321,000	6,930,690	△ 1,609,690	
事業活動支出計 (b)		5,321,000	6,930,690	△ 1,609,690	
事業活動収支差額 (a)－(b)		△ 1,900,000	△ 3,449,690	1,549,690	

【 参考資料 】

令和 8年度 伊勢志摩学生団体誘致委員会事業特別会計収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和8年度)	前年度予算 (令和7年度)	差 異	説 明
II	投資活動収支の部				
1.	投資活動収入	0	0	0	
2.	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額	0	0	0	
III	財務活動収支の部				
1.	財務活動収入	0	0	0	
2.	財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
	他会計振替額	0	0	0	
IV	予備費支出	0	0	0	
	当期収支差額 (e)	△ 1,900,000	△ 3,449,690	1,549,690	
	前期繰越収支差額	0	3,449,690	△ 3,449,690	
	次期繰越収支差額	△ 1,900,000	0	△ 1,900,000	

【 参考資料 】

令和 8年度 いせしませんぐう旅事業特別会計収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和8年度)	前年度予算 (令和7年度)	差 異	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①負担金収入	事業負担金	11,870,000	6,870,000	5,000,000	三重県(SNS事業含む)
		15,600,000	10,500,000	5,100,000	伊勢市・鳥羽市・志摩市 5,200千円×3市
		1,000,000	350,000	650,000	南伊勢町
		1,100,000	0	1,100,000	明和町
		2,000,000	400,000	1,600,000	玉城町・度会町 1,000千円×2町
		11,870,000	6,870,000	5,000,000	近鉄グループホールディングス(株)
②事業収入	首都圏プロモーション事業	45,000,000	0	45,000,000	三重県・伊勢市・企業協賛等
	SNS発信事業	5,000,000	0	5,000,000	伊勢市 (SNS事業分)
③雑収入		500,000	0	500,000	協賛金
		1,000	1,000	0	受取利息
事業活動収入計 (a)		93,941,000	24,991,000	68,950,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		2,000,000	1,450,000	550,000	せんぐう事業分時間外手当
臨時職員賃金			0	0	
臨時職員手当			0	0	
福利厚生費			0	0	
会議費支出		100,000	180,000	△ 80,000	講演会場使用料 50,000×2回
旅費交通費支出		630,000	322,000	308,000	セールス活動及び展示会等出展旅費 @42,000×5名×3回= 630,000円
消耗品費支出		251,000	337,000	△ 86,000	コピー使用料、消耗品 等
印刷製本費支出		150,000	1,000	149,000	封筒等
賃借料		20,000	20,000	0	Wi-Fi レンタル料 等
広告宣伝費支出		1,000	55,000	△ 54,000	
渉外費		765,000	45,000	720,000	・営業活動に係る手土産代 5事業者×3,000円=15,000円 ・モデルコース作成 アンバサダー旅費250,000(2名) ・デジタルスタンプ商品 500,000円
諸謝金		300,000	240,000	60,000	・座談会講師謝礼 240,000円 ・モデルコース作成事業 60,000円
燃料費		0	0	0	
使用料及び手数料支出		0	0	0	
通信運搬費支出		197,000	516,000	△ 319,000	荷送料
支払負担金		0	0	0	
支払助成金		0	0	0	
支払寄付金		0	0	0	
委託費		89,377,000	26,539,005	62,837,995	・いせしませんぐう旅札作成 ・インフルエンサー等SNS発信、プロモーション費用 ・デジタルマップシステム関係業務 ・首都圏プロモーション事業 ・お木曳行事SNS発信事業
租税公課支出		100,000	125,000	△ 25,000	
雑費支出		50,000	10,000	40,000	振込手数料・クリーニング代
事業費支出計		93,941,000	29,840,005	64,100,995	
事業活動支出計 (b)		93,941,000	29,840,005	64,100,995	
事業活動収支差額 (a)－(b)		0	△ 4,849,005	4,849,005	

【 参考資料 】

令和 8年度 いせしませんぐう旅事業特別会計収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和8年度)	前年度予算 (令和7年度)	差 異	説 明
II	投資活動収支の部				
	1. 投資活動収入	0	0	0	
	2. 投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額	0	0	0	
III	財務活動収支の部				
	1. 財務活動収入	0	0	0	
	2. 財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
	他会計振替額	0	0	0	
IV	予備費支出	0	0	0	
	当期収支差額 (e)	0	△ 4,849,005	4,849,005	
	前期繰越収支差額	0	4,849,005	△ 4,849,005	
	次期繰越収支差額	0	0	0	

【 参考資料 】

令和 8年度 高付加価値インバウンド事業特別会計収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和8年度)	前年度予算 (令和7年度)	差 異	説 明
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①負担金収入	事業負担金	9,000,000	9,000,000	0	伊勢市・鳥羽市・志摩市 3,000千円×3市
		1,000,000	1,000,000	0	南伊勢町・明和町 500,000×2町
②事業収入	県補助金	20,000,000	10,000,000	10,000,000	県補助金
	国調査費	9,800,000	14,500,000	△ 4,700,000	観光庁モデル地域事業
	その他	10,000,000	0	10,000,000	その他(国事業又は機構内繰越金等)
③雑収入		1,000	1,000	0	受取利息
事業活動収入計 (a)		49,801,000	34,501,000	15,300,000	
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
給与手当		13,992,000	7,796,000	6,196,000	・専門人材①(外部団体からの派遣受入 給与 6,500,000円 ・専門人材②(機構雇用) 給与 6,000,000円 ・機構職員(市町からの派遣含む) 時間外手当等 2,192,000円
福利厚生費支出	社会保険料等	700,000	0	700,000	専門人材② 社会保険料等 700,000円×1名
会議費支出		4,079,000	4,000,000	79,000	・ILTM Asia Pacific・ILTM Cannes 出展費用 ・会議施設利用料等
旅費交通費支出		8,415,000	4,750,000	3,665,000	・ILTM Asia Pacific・ILTM Cannes 旅費 ・その他国内外出張旅費
消耗品費支出		117,000	185,000	△ 68,000	コピー使用料、消耗品 等
修繕費支出		0	0	0	
印刷製本費支出		0	0	0	
通信運搬費支出		69,000	78,605	△ 9,605	荷送料
広告宣伝費		0	0	0	
渉外費		80,000	3,100,000	△ 3,020,000	・海外渡航保険 ・各種視察費用
燃料費支出		0	0	0	
使用料及び手数料		0	0	0	
光熱水料費		0	0	0	
賃借料支出		64,000	300,195	△ 236,195	国内外出張に係るポケットWi-Fiレンタル料等
諸謝金		205,000	500,000	△ 295,000	・有識者、専門家への登壇、通訳等謝礼
負担金支出		0	0	0	
支払助成金		0	1,000,000	△ 1,000,000	
租税公課支出		68,000	100,200	△ 32,200	印紙購入
委託費支出		22,000,000	12,800,000	9,200,000	①各種海外イベント・セールス関連委託 ②AGT、メディア等によるファトリップ関連委託 ③4市町トップセールス関連委託(①を除く) ④テントオペレート機能強化関連委託 ⑤ターゲット国メディア掲載等関連委託 ⑥ブランドブック改修、印刷等関連委託 ⑦伊勢神宮多言語解説カード印刷等関連委託
雑費支出		12,000	10,000	2,000	振込手数料等
事業費支出計 (b)		49,801,000	34,620,000	15,181,000	
事業活動収支差額		0	△ 119,000	119,000	

【 参考資料 】

令和 8年度 高付加価値インバウンド事業特別会計収支予算書(資金ベース)

単位:円

科 目		今年度予算 (令和8年度)	前年度予算 (令和7年度)	差 異	説 明
II	投資活動収支の部				
	1. 投資活動収入	0	0	0	
	2. 投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額	0	0	0	
III	財務活動収支の部				
	1. 財務活動収入	0	0	0	
	2. 財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
	他会計振替額	0	△ 10,344,528	10,344,528	
IV	予備費支出	0	0	0	
	当期収支差額 (e)	0	△ 10,463,528	10,463,528	
	前期繰越収支差額	0	10,463,528	△ 10,463,528	
	次期繰越収支差額	0	0	0	

報告事項

- ・ 正会員の入会の報告

正会員の入会の報告

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構定款第6条第1項及び
公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構入退会規程第2条第2項
の規定に基づき、次の者を正会員として入会することを認める。

入会日	会社名	代表者名	住所	事業内容
令和8年 2月27日	UMIBE IseShima	代表 岡野 雄介	大阪市西区川口1 丁目3-23 1206	宿泊施設
令和8年 2月27日	マルゴ株式会社	代表取締役 前川 仁志	松阪市平成町 59-15	小売
令和8年 2月27日	株式会社 NTT ドコモ 関西支社	カスタマー サクセス部長 杉浦 正宏	名古屋市東区東桜 一丁目1番10号 ア ーバンネット名古 屋ビル 12F	通信 調査・分析 マスメディア
令和8年 4月1日 入会希望	沖中造林株式会社	代表取締役 沖中 祐介	松阪市飯高町波瀬 219	その他（林業）
令和8年 4月1日 入会希望	特定非営利活動法人 世界のきず な文化交流協会	理事長 塩本 幸子	三重県志摩市志摩 町和具 570	団体
令和8年 4月1日 入会希望	株式会社プライムシェア	代表取締役 河出 幸恵	三重郡菰野町菰野 4668-11	旅行

